

より良いブログのタイトルをつけましょう

ブログ記事タイトルは「読者」と「検索エンジン」にどのような記事が書かれているのかを伝える重要な役割があります。

タイトルをつける際に気を付けたいポイントをまとめましたので参考にして下さい

1、内容とタイトルを一致させて、検索キーワードを入れる

ブログ記事のタイトルには「この記事は〇〇のことについて書かれています。」ということを読者と「検索エンジン」に伝える重要な役割のひとつです。タイトルをみただけでブログに何が書かれているのか想像できる必要があります。

例えば、ブログの記事が真っ白になったトラブルがあり、それが解決した記事を書く場合は・・・

(悪い例)

「昨日はマジで焦った！ブログが真っ白」

(良い例)

「ブログの画面が真っ白になってしまったときの対処法」

ブログが真っ白になっただけでは、読者のメリットになるのか？対処法であれば同じように困ってる人に読んでもらえる。

2、読み手目線のタイトルにする

有名人なら「私がおすすめする本」というタイトルの記事でも読んでもらうことができますが、一般的には読んでももらえない可能性が高いです。

(悪い例)

「私がおすすめする本」

(良い例)

「ブログの文章力を付けるためのおすすめの本」

このようにブログを読んでもらいたいなど、ターゲットを明確にしてタイトルをつける事で適切に記事を読んでもらえる可能性が高くなります。

3、数字を使ったタイトル

ブログ記事タイトルには数字を入れると効果的と言われていますが、実際に数字を入れると反応が大きく違うという結果が出ています。

(悪い例)

「無料で使えるイラスト集サイト」

(良い例)

「無料で使えるイラスト集サイト特選10サイト」

このように1記事を見れば10個の特選サイトが見れるとお得感が出るので、数字と使ったタイトルをつけるのはとても良い方法です。

4、ハードルを下げる

「文章力を上げるために必ず読べき書籍100冊」とタイトルをつけたら、読んだ人は「やはり文章力をつけるのは大変なんだな・・・」と思ってしまう可能性が高いです。そこで100冊の中でもあえて7冊に絞って「文章力をつける特選7冊」とする事でハードルを下げる事も重要となります。

5、オチはタイトルで言わない

記事の内容とマッチしたタイトルを付けるというのは基本ですが、必ずしもタイトルでその“オチや答え”を提示しなければならないということではありません。タイトルでは読み手の理想（ベネフィット）だけを想像させて具体的方法は記事の中でしっかりと伝えるという方法もあります。

「お腹がへこむ体感トレーニング」とタイトルをつけてしまうと「あ〜っ体感トレーニングね！」とタイトルをつけてしまうと、記事を読まなくても想像がついてしまい、記事を読んでもれえなくなります、そこで「1日たった5分でお腹が凹むトレーニング方法」とすると1日5分で！？お腹が！？と興味を沸かせる事ができます。

基本的なタイトルの付け方のポイント5点を簡単に書きました。これ以外にも幾つかポイントとなる点もありますが、先ずは、この5点を気にしてみてくださいはいかがでしょう。

また、貴社のブログは求職者へ、会社の社風を知らせるのが最大のテーマであります、仕事内容なども書ける範囲で書いていく事で、求職者以外にもアピールできるのではと思います。

例えば、何かを交換したならば・・・

「最新の機材で〇〇を交換したら超時間短縮」「当社のノウハウなら〇〇の交換も新人でもできる」

などタイトルをつけるとより読んでもらえる可能性が高くなると思います。